

三河商人道

PART
149

東海光学株式会社

管理部
課長

岩瀬 正毅 君



青年部は出会いと勉強の場。



メガネのレンズを作り続けて75周年、消費者とのつながりを第一に考える東海光学株式会社の管理部課長 岩瀬正毅さん。にこやかな笑顔に迎えられて、青年部に入会してからの9年間と事業への想いを穏やかな雰囲気の中でお話しいただきました。

昭和14年創業「顧客第一主義」「全社員の経営参加」「独自性の発揮」を理念に掲げ、日本だけでなく世界中で活躍をされている東海光学株式会社。その中で管理部課長としてご活躍の岩瀬さんに、現在と未来のメガネのレンズのあり方についてお話しいただきました。現在のレンズは通常の「見ること」に加え「見られること(ファッション性)」「より良く見えること(機能性)」が大切であり、それを踏まえてエンドユーザーに提供しなければならない。また、日本の人口が減っていている現在では、今後は世界に向けてグローバルに行動することが、会社のさらなる発展には必要不可欠であると、企業の心構えについて非常に勉強となるお話でした。

当時の東海光学株式会社社長であり、現在の岡崎商工会議所会頭でもられます古澤武雄会長から勉強のためと勧められたことがきっかけで青年部に入会。1年目、山本鎮委員長のもとで委員会活動を学んだ後は平成22年度に水鳥一二委員長のもとで総務委員会幹事、さらに平成23年度には高原裕治委員長のもとで親睦委員会副委員長を務められました。親睦委員会副委員長を務められたことがきっかけで訪問した台湾ではセレモニーの規模に驚きながらも、他国の文化に触れられたことは非常に印象的で楽しかったそうです。

東海光学株式会社一筋で仕事に励まれております岩瀬さんには奥様と3人のお子様がいらっしゃいます。現在の1番の楽しみは成人されたご子息と夜にお酒を飲み交わすこと。また、旅館でくつろぎ、その土地の美味しい料理を楽しむゆったり型の家族旅行が大好きだそうです。にこやかに語る岩瀬さんからは大切にされている家族への愛情を感じました。

最後に、青年部とは「出会いと勉強の場」であり、せっかく青年部に入会されたのなら色々なことを経験し、勉強すべきです。そこで多くの人々と出会い、交流を広げていくことが商売を広げていく上で一番大切な財産となると岩瀬さんは語られました。人とのつながりを大切にされる岩瀬さんのお話から、青年部活動と事業の目指すべき姿を学ぶことができ貴重な取材となりました。



会社にお邪魔して取材するメンバー



会社の壁には数々のISO関係の認定証



取材スタッフと記念撮影



取材担当/
ビジョン委員会
都築正道、飯田光明、
佐野真琴、伊豫田悠佑